



ドローン前提社会の実現とエアモビリティ社会の到来

Drone Fund
General Partner 千葉 功太郎

Drone Fundイラスト素材DL URL&QRコード
<http://bit.ly/2OZ6gG5>



そして、ドローン前提社会へ



2025年 東京 六本木ヒルズ屋上からの風景





Drone based society will be made by us

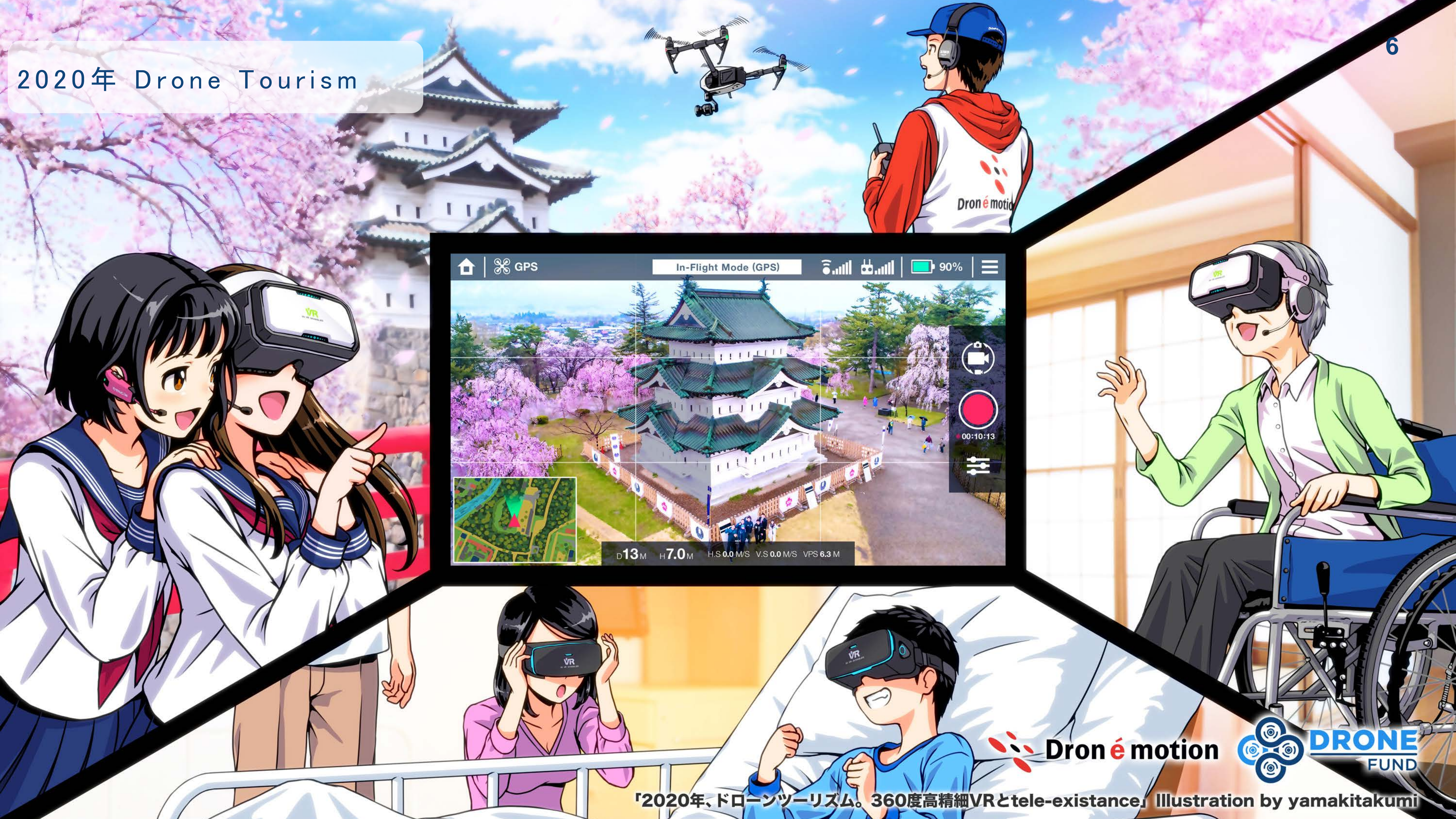
ドローン前提社会を創る

私たちが子供の頃から当たり前のように
見続けてきた、SF未来都市が未だに実現していません。
空に道があったり、ロボットが空を飛んでいたたり、
人が乗った車やバイクが空を飛んでいたたり。
こんなペースでは、生きている間に間に合わないかも…。

それならば、私たちの力で、
一緒につくっちゃいませんか？



2020年 Drone Tourism



2021年
HomeDrone w/Smart Speaker



2024年
都市内型ドローン基地
ドローンネスト



「2024年、ドローンネスト。ビルの一角から自動離発着するドローン基地」 Illustration by yamakitakumi

2024年
子供見守る&CtoC宅配
わんこお散歩
自動追尾型日傘

9



「2024年、子供見守り&忘れ物配達ドローンと、ワンコお散歩ドローン&自動追尾型傘ドローン」 Illustration by yamakitakumi



DRONE
FUND

エアモビリティ社会の到来

人が乗って空を飛ぶ

SF映画では当たり前のシーンが

いよいよ、近づいてきました。

たくさんの荷物を運ぶトラックドローンも

空を飛びそうです。

空飛ぶ車、エアモビリティ

いよいよ、現実。







- ・ホンダジェットを試乗
- ・成田空港←→富士山静岡空港の
往復フライトをコパイロット席で経験





例えば2022年東京
未来型モビリティのひとつとして、
ナンバープレート付けて公道を走るホバーバイクをALI
社が実現を目指します。

15



「2022年、公道をナンバープレート付きで走るALI社製ホバーバイク」 Illustration by yamakitakumi



2020年 福島県ロボットテストフィールド
から北米カルフォルニアへ長距離飛行に挑む
米セイバーウィングエアクラフト社の
カーゴ型無人エアモビリティ「Draco」

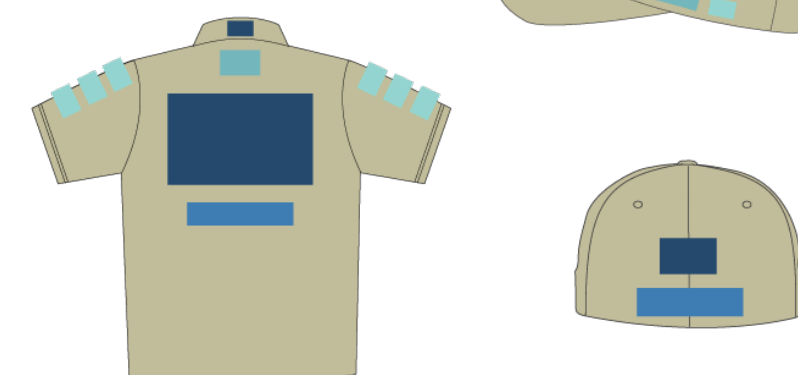
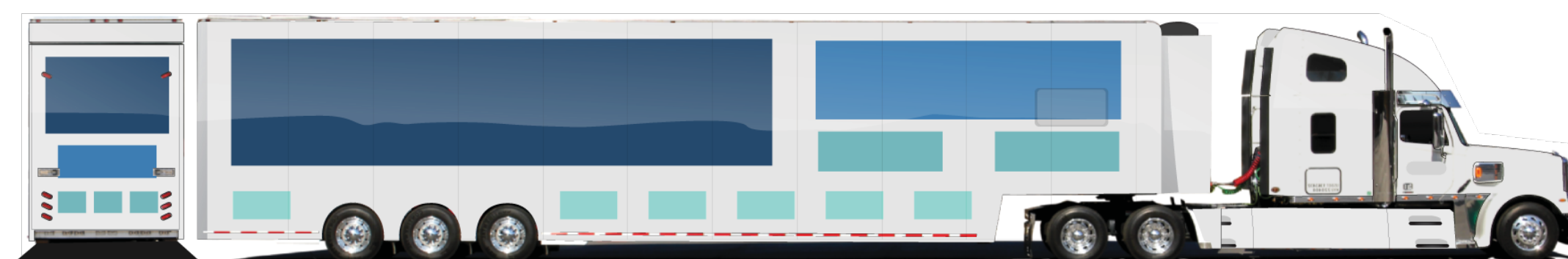
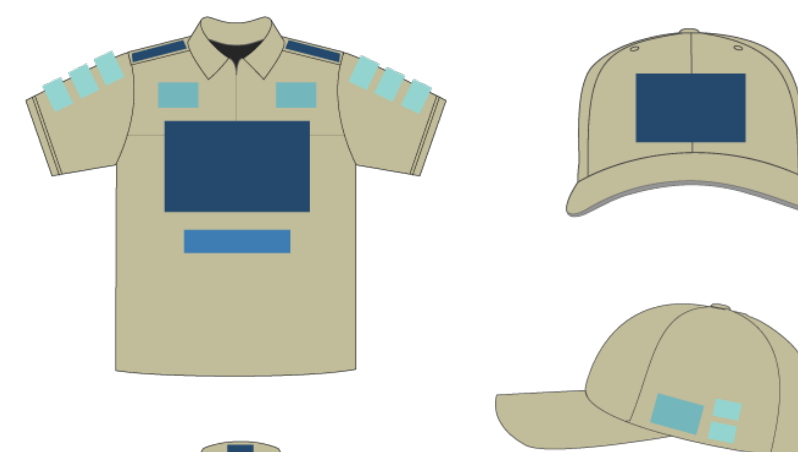
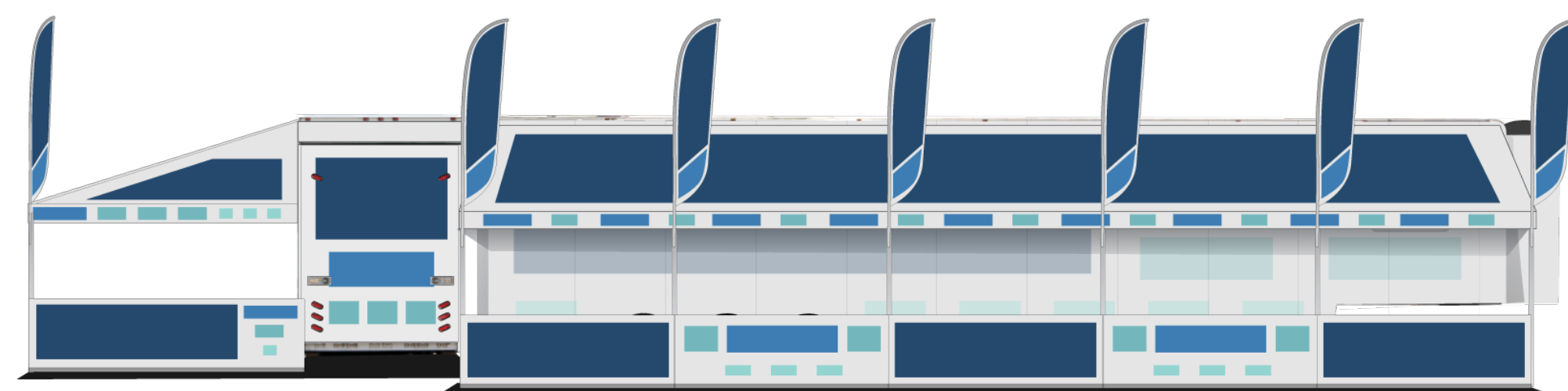
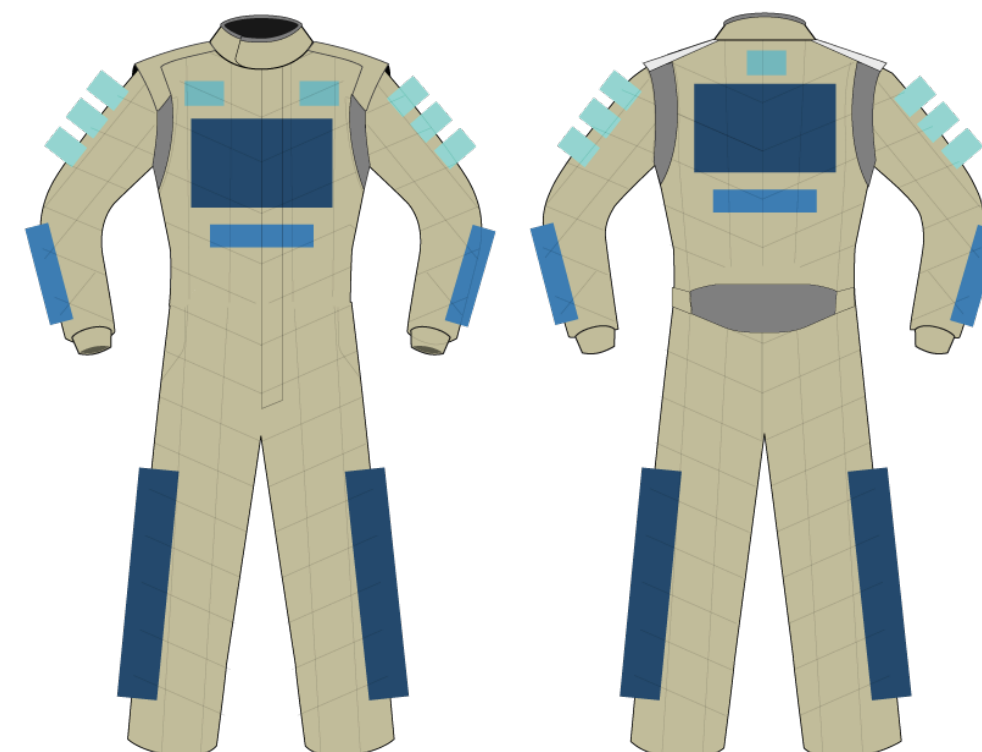
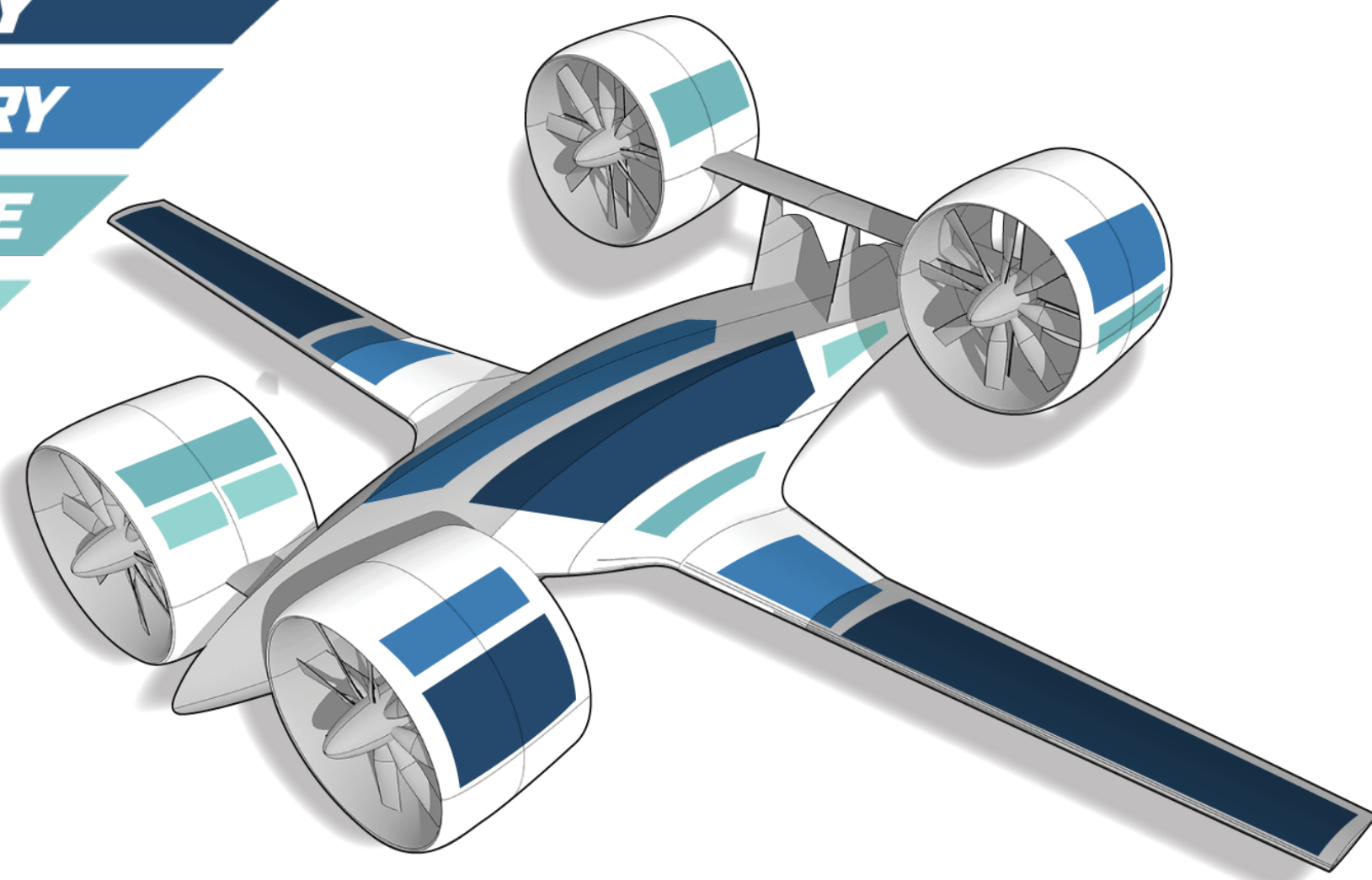
DroneFund1号投資先 米国セイバーウィングエアクラフト社
 翼長12メートルで最大2トンの積載物を運び300km自動航行する
 完全無人カーゴドローン「Draco」
 積載0Kgだと8000km航続距離

PRIMARY

SECONDARY

ASSOCIATE

TECHNICAL



CEO Ed氏は元アメリカ空軍パイロット

2025年 宅配事業会社における
拠点間24時間中間物流が全て
「Draco」で運用されるイメージ

18



SABREWING
AIRCRAFT COMPANY

DRONE
FUND

「2025年、配送センターから離発着するセイバーウィング社製大型カーゴドローンDraco」 Illustration by yamakitakumi

2025年 東京墨田区ビル屋上で離
発着するドローンタクシー
(イメージイラスト)

19



2025年PRODRONE社製
AEROCAの幼稚園送迎サービス



Revolutionary Drones for Professionals
PRODRONE



「2025年、PRODRONE社製AEROCAの幼稚園送迎サービス」 Illustration by yamakitakumi

202X年 純国産エアモビリティ
カーティベーター「SkyDrive」



2024年
被災地で活躍するホバーバイク
無人救急ドローン
緊急物資輸送や被災地調査



DRONE
FUND

Drone Fund 2号の発表

ドローン前提社会とエアモビリティ
スタートアップを大企業と共に支援



Condition & Schedule

ファンド規模とスケジュール

ファンド総額(予定)

30 億円

(~Max **50 億円**)

世界でも数少ない
ドローン専門型VC
ファンドとして
世界最大規模へ

ファンド組成

2018年8月1日

2号ファンドからの
新規投資先候補も
国内外に5~6社と
打診をかけている

ファーストクローズ

2018年9月30日

アンカーインベスター
に加えて、数多くの
国内大企業が参画予定

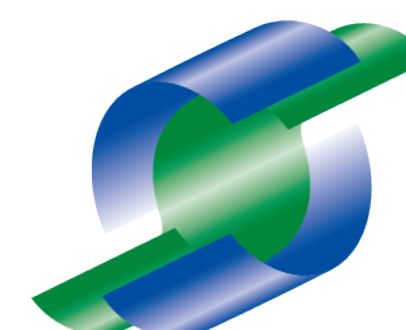
Drone Fund II 新規LP投資家様



MABUCHI
TAKASHI, REIKO, TAKEHIKO
(マブチモーター創業家一家)



本田圭佑氏
KSK ANGEL FUND



SEGA-SAMMY
GROUP

1号ファンドからの継続LP投資家様



FFGベンチャービジネスパートナーズ



日本アジアグループ



Leave a Nest

DRONE
FUND

Aim for Altitude



Aim for Altitude

Aim for Altitude

Drone Fund の特徴



千葉 功太郎

General Partner

3つの経験からDrone Fundを推進します

壱 2社の上場起業家経験

元 株式会社コロプラ(東証一部3668)取締役副社長

元 KLab株式会社(東証一部3656)取締役

弐 日本を代表する個人投資家

国内外30VCファンドLP投資家、52社の個人投資家経験

参 ドローン愛

自ら50機超のドローンを保有し、国土交通省全国包括飛行認可を持つ総フライト300時間を超えるドローンパイロット
慶應義塾大学SFC研究所 上席所員(ドローン社会共創コンソーシアム)

1号ファンドのサマリー

28

総額約16億円にて組合組成を完了致し、
計21社のドローンビジネスを営む企業へ出資いたしました。

ファンド総額

16 億円

投資実施社数

21 社

主な投資先一覧

国内外ドローンスタートアップのハード・ソフト、
コア技術・サービスの全方位にわたって、投資を実施いたしました。



(株) CLUE



(株)自律制御システム研究所



(株) Aerial Lab Industries



(株) Liberaware



(株)エアロネクスト



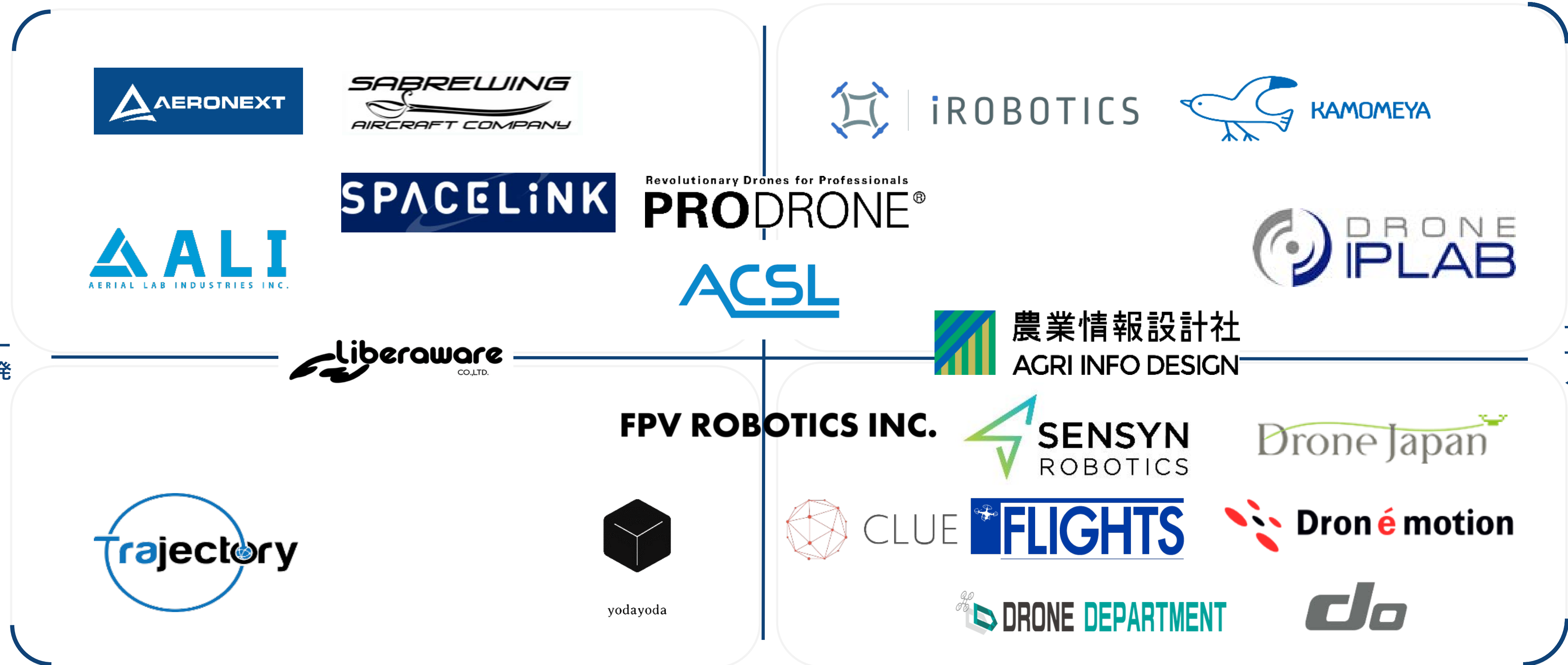
Sabrewing Aircraft
Company, Inc.

Positioning

投資先ポジショニングマップ

ドローンをキーワードに、関連するコア・テクノロジー、サービスの全方面を積極的にカバーして投資していきます。
また、チームジャパンドローンとして国内外企業を有機的に連携プロデュースします。

ハード・機体



コア・テクノロジーの開発

サービスの提供
サービスの
インテグレーション

ソフト・アプリケーション

ファンドが目指す姿と特徴

Drone based society will be made by us

ドローン前提社会を創る

国内中心ドローンスタートアップの「**完全中立全方位型ポートフォリオ**」で、
全世界市場で戦う**日本ドローン株式会社**のようなチーム力を作り上げ、LP投資家との深い連携を通し、
国内外のドローン市場で売上シェアを獲得していく。

投資先間M&Aや、投資家によるM&A、専門の知財戦略投資先DroneIPLab社による手厚い知財サポート、
またLP投資家事業提携など強く推進。ベンチャーキャピタルとしての機能に留まらず、
1つの**ドローン企業ホールディングスの経営的なアプローチや判断**を、上場企業経営経験のある
GP千葉功太郎がリードしていくのが特徴。

また、運営チームによる深い技術や経営サポートだけでなく、**起業家コミュニティ「千葉道場ドローン部」**での
合宿や経営者塾開催によるチーム力醸成。さらには**DroneFund公共政策部門**を持ち、自民党国会議員による
ドローン議連の政策サポートや各省庁ドローン担当部門との密接な連携を通して、
ドローン法制をリードする役割を持つことがDrone Fundの大きな特徴。

Drone Fund Advisory Board

アドバイザーボード

国内ドローン業界やロボット・インターネット業界をリードしている方々です。



Yoshichika Sakamoto

坂本 義親

株式会社ORSO 代表取締役社長Founder 慶應義塾大学SFC研究所所員（ドローン社会共創コンソーシアム）2001年より様々なモバイルサービスに携わり、2014年よりドローン事業に着手。操縦者養成スクール第1校目の共同運営や、DJI JAPANと共同で設立したdo株式会社による「drone market β版」、楽しみながら学ぶ小型機体×教育アプリ「DRONE STAR」など、様々な活用方法を模索。



Motoaki Nishiwaki

西脇 資哲

日本マイクロソフト株式会社 業務執行役員日本経済新聞で紹介されたIT「伝道師/エバンジェリスト」。2009年に初めてドローンに出会い、以後、30機ほどのドローンを所有し、全国の自治体や企業はもちろん小学校から大学まで幅広いドローンの普及活動を行っている。



Kazuhiro Obara

尾原 和啓

シンクル事業長、執筆・IT批評家。京都大学院で人工知能を研究。マッキンゼー、Google、iモード、楽天執行役員、2回のリクルートなど事業立上げ・投資を歴任。現在13職目、バリ島をベースに人・事業を紡いでいる。



Shintaro Takahashi

高橋 伸太郎

慶應義塾大学政策・メディア研究科特任講師デジタルハリウッド大学研究員ドローン、デジタル産業の分野を中心に、公共セクター向けの政策アドバイザーや、企業・業界団体の政府渉外戦略をサポート。産学官連携活動を推進。



Soki Ohmae

大前 創希

(株)クリエイティブホープ 代表取締役会長
アナリティクスアソシエーション副代表
ビジネス・ブレークスルー大学 教授
ビジネス・ブレークスルー大学大学院 アントレプレナーコース教授
2014年末より個人的なドローンの活動を開始。



Daisuke Imai

今井 大介

アスラテック株式会社
ロボットエバンジェリスト
慶應SFC卒業後、様々なインターネット関連の複数の新規事業の立ち上げおよび技術組織のマネジメント(CTO)などに従事し、2015年より現職。



Market Circumstances

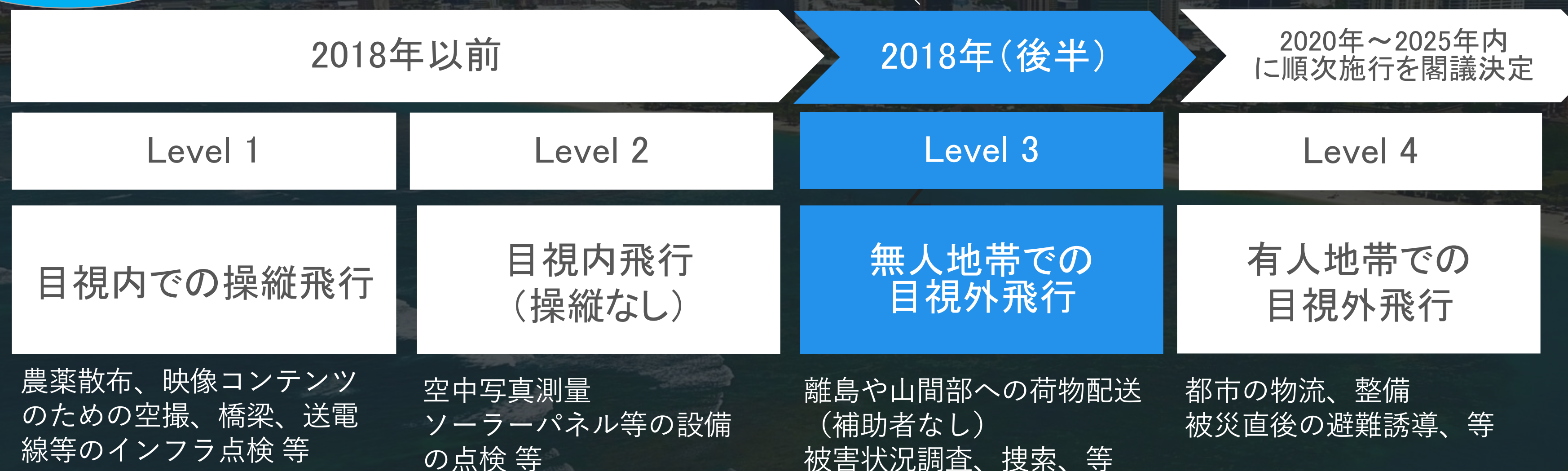


国内法規制の流れ

ドローンの社会実装へ向けて、公共政策の面からも支援を行い
空の産業革命に向けて、日本では官民・産学連携でドローンの産業化に取り組んできた。

①Drone

現在



②Air Mobility

ドローンとは別軸で、「空飛ぶ車(=エアモビリティ)」の「工程表(=ロードマップ)」を
年内にまとめ、日本として明確なエアモビリティ社会に向けた法整備を期限とステップを明確
にして進めていく。という閣議決定がなされた。
そして、本日の「第1回 官民協議会」開催へ！

2018年7月3日 日経新聞

「空飛ぶ車」年内に工程表 官房長官

菅義偉官房長官は2日、記者会見で、「空飛ぶ車」の実用化に意欲を示した。「新たなプレーヤーの参入を促すべく、年内をめどに経済産業省と国土交通省で官民協議会を立ち上げ、工程表を策定する」と語った。国内企業は空飛ぶ車の開発の動きは鈍いため、企業の新規参入を促す。菅氏は空飛ぶ車について、「都市部の渋滞対策だけでなく、災害時や観光促進などの活用が想定される」と指摘した。「将来的には社会課題を解決する可能性が期待できると利点を強調した。空飛ぶ車は操縦士なしで移動できるものやプロペラで動くものが想定されている。国内では安全性確保などを定める法整備が進んでいない。海外では配車サービス大手の米ウーバーテクノロジーズが「空飛ぶタクシー」の実用化を検討するなど企業参入が相次いでいる。




ドローンファンドは、国内唯一、世界最大級の
ドローン&エアモビリティ専門
ベンチャー企業投資ファンド

国内外へ投資することを通して、産官学一体となって
ドローン前提社会の実現と、エアモリティ社会到来を
「チームジャパンドローン」として、**強烈に推進**します。

東京を、日本を、空の産業革命の中心地へ！









ありがとうございました

An aerial photograph of a coastal town and harbor. The town is built on a peninsula, surrounded by deep blue water. A large, green, conical mountain rises behind the town. The water is calm, reflecting the sky. The overall scene is serene and scenic.

参考資料

投資先21社の事業内容①

国内外ドローンスタートアップのハード・ソフト、コア技術・サービスの全方位にわたって、バランスよく、今後成長していくと予想されるドローン産業分野に投資を実行していきます。

 <p>ドローン・ジャパン株式会社 精密農業リモートセンシング 米に特化して国内・アジア展開</p>	 <p>株式会社CLUE DroneRooferによる屋根点検 アプリカドローン事業</p>	 <p>ドローンデパートメント株式会社 ドローン特化型人材派遣 法人向け機材込みリース事業</p>	 <p>株式会社アイ・ロボティクス 大規模ドローン開発Sler 24h連続飛行VTOL機開発</p>
 <p>株式会社ドローンエモーション 地域創生空撮サービス 地方行政に特化した商品</p>	 <p>株式会社Aerial Lab Industries 研究開発型有人ホバーバイク開発、 マイニングマシン、ブロックチェーン技術</p>	 <p>株式会社DRONE IP LAB ドローン専門特許共同出願 特許購入・管理・販売</p>	 <p>yodayoda 株式会社yodayoda 非GPS環境下の自己空間位置 推定システム研究開発</p>
 <p>株式会社かもめや 陸海空ドローン物流機開発 統合型航空管制システム</p>	<p>FPV ROBOTICS INC.</p> <p>FPV Robotics株式会社 ドローンレース 「Drone Impact Challenge」運営</p>	 <p>株式会社エアロネクスト ドローン機体研究開発 特許群出願、保有、4D Gravity™</p>	 <p>スペースリンク株式会社 次世代バッテリー（CNTキャパシタ）&マルチ GNSS研究開発</p>

投資先21社の事業内容②

国内外ドローンスタートアップのハード・ソフト、コア技術・サービスの全方位にわたって、バランスよく、今後成長していくと予想されるドローン産業分野に投資を実行していきます。



株式会社農業情報設計社
農業トラクター向け運転支援
アプリ&自動運転ソリューション



株式会社Liberaware
非GPS産業用小型ドローン開発&制御ソフト
ウェア開発



株式会社FLIGHTS
ドローン機体オンライン販売、
メディア、空撮、保険



do株式会社
DJI Japan&ORSOの合併会社
案件マッチング「Drone Market」運営



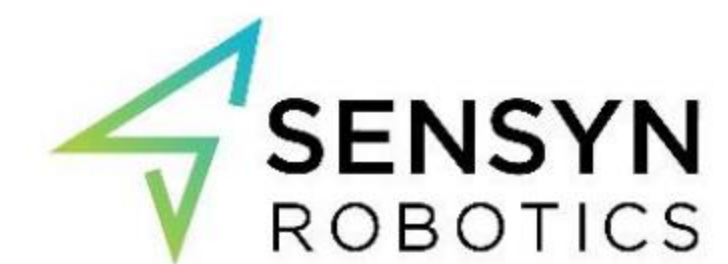
株式会社自律制御システム研究所
自律飛行制御に強みをもつ完全国産ドローン
内製メーカー



Sabrewing Aircraft Company, Inc.
太平洋横断レース参加及び長距離、高積載ド
ローン開発



株式会社トラジェクトリー
民間ドローン航空管制システム
自社開発、受託開発



株式会社センシンロボティクス
産業用ドローン等を活用した業務用ロボティク
スソリューションの提供



株式会社プロドローン
「高安定・高機能・高安全」のハイエンド向け産業用ド
ローンを開発製造、空飛ぶ車「AEROCA」の開発

Alliance w/ Leave a Nest Co.,Ltd.

協業企業：リバネス

知識プラットフォームのリバネス社と業務提携。リバネスが提携する国内外の研究者ネットワークと町工場ネットワークを、DroneFund投資先と積極的につなげ、国内開発体制を築きます。



Yukihiro Maru

丸 幸弘

株式会社リバネス
代表取締役CEO



Kazuhiro Hasegawa

長谷川 和宏

株式会社リバネス
執行役員CKO



研究者の先端技術



投資先ドローンスタートアップ



町工場のネットワーク

投資先の知財戦略支援



投資先の知財戦略支援、グループ全体の Patent ポートフォリオ構築のための FUND 直轄企業を設立。

DRONE IP LABの3つの特徴

1

ドローン前提社会に向けた
国産ドローン産業の育成と発展を
知財から支援することを理念とする

2

DRONE FUND 投資先の知財戦略支援と
共同発明・共同出願を活用した
Patent ポートフォリオマネジメント

3

DRONE FUND グループ全体の Patent
アンブレラを構築するための
DRONE FUND 直轄の企業

ドローン
IP LAB

Startup A

防衛特許A

コア特許

Startup B

防衛特許B

コア特許

Startup C

防衛特許N

コア特許

共同出願

防衛特許の共同構築

DRONE
IP LABO

防衛特許N

防衛特許B

防衛特許A

特許N

特許B

特許A

業務・技術提携

訴訟防衛・ライセンス

ドローン
企業

大学・研究機関

特許a

大企業

特許b

海外企業

特許c

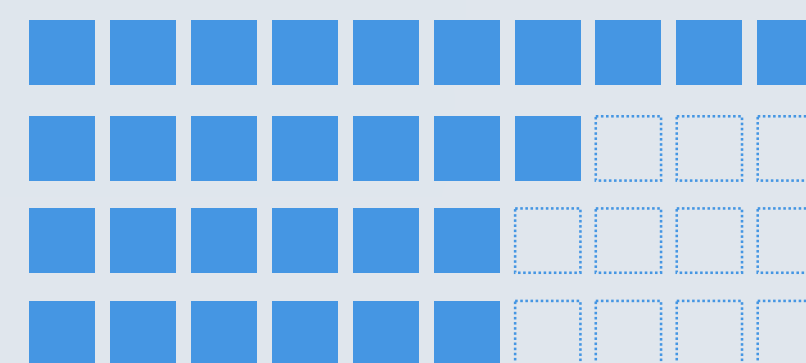
千葉道場 Chiba Dojo

Start-ups CEO,CxO Community

Summary

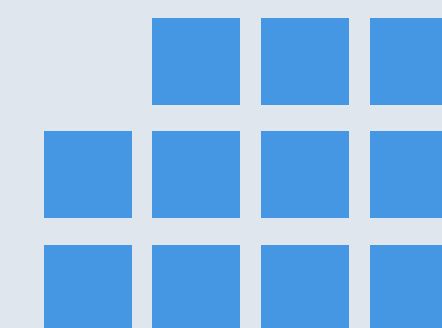
完全秘密厳守の徹底の元、投資先起業家の圧倒的成長と相互助け合いを目的とした、強い結束力を持つ起業家コミュニティ。半年に1回開催される1泊2日の「千葉道場合宿」を軸に、ネット業界著名人「尾原和啓」氏と千葉道場がタイアップしての毎月の個別起業家メンタリング等、起業家にとって本当に必要なものを横串で応援していく、大プラットフォームです。

千葉道場 全体会
40+Internet Start-ups



千葉道場 ドローン部
同形式で特化運営

11+
Drone
Start-ups



連携

CxO合宿

経営者研修と
コミュニティ作り

月次開催勉強会

社員も参加できる
専門テーマ

Facebook
コミュニティ

いつでも誰でも
気軽に相談

定期経営者
メンター

尾原氏、千葉氏
メンタリング

2018年7月27日～28日 新潟県南魚沼市舞子スキー場で開催された
第2回千葉道場ドローン部合宿

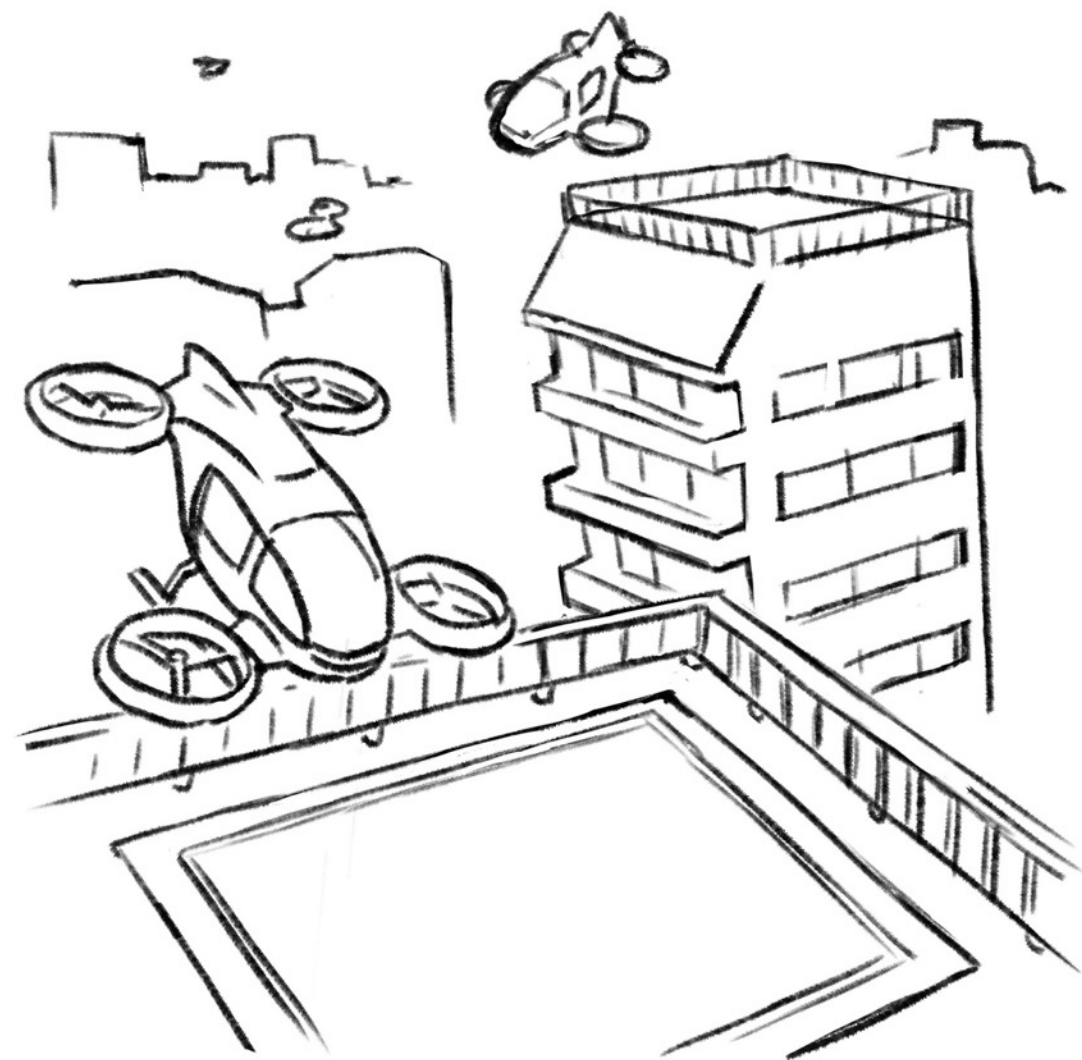


- 主要合宿討議テーマ
- ・ファイナンス
 - ・大企業連携
 - ・知財PR
 - ・投資先間協業
 - ・ドローン技術

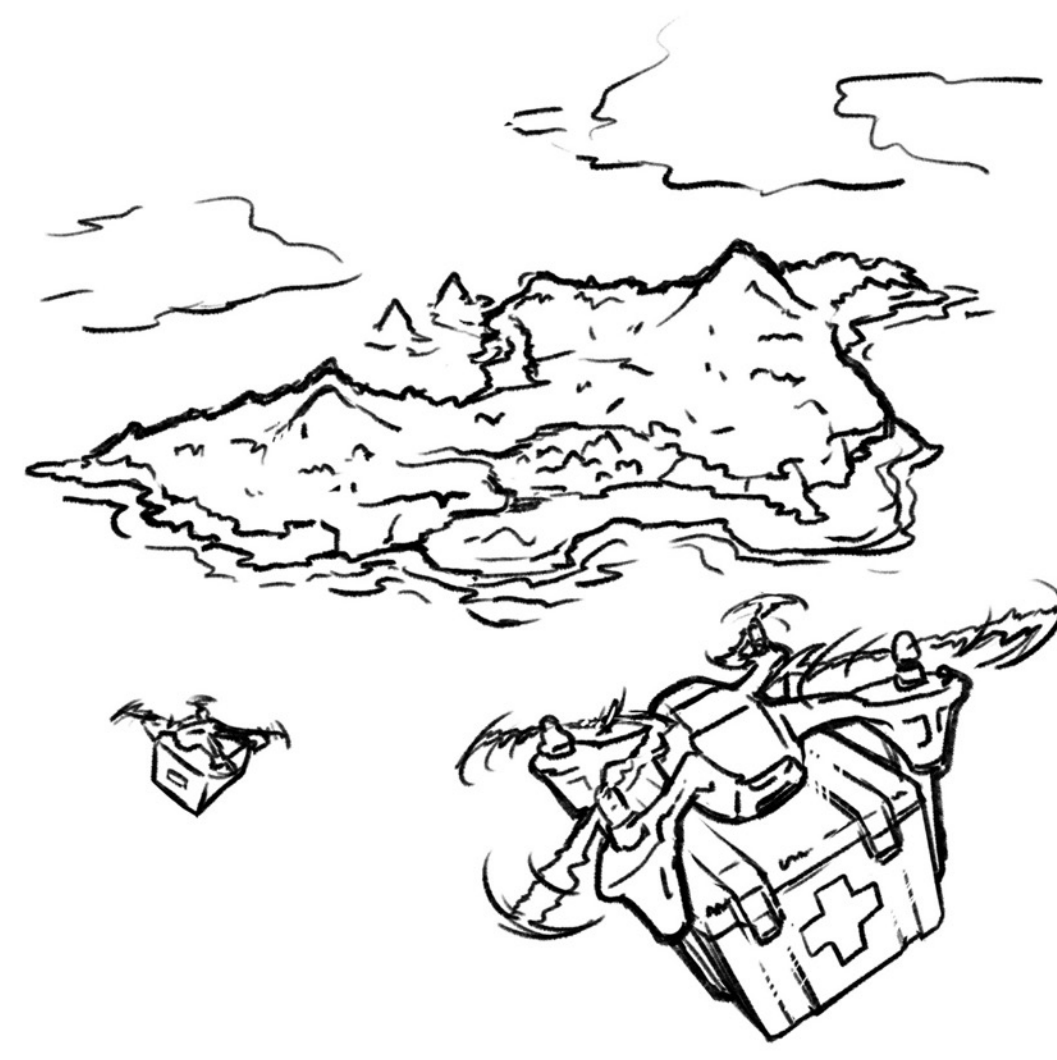


ドローン前提社会では何が実現するの？

都市や地方で、当たり前のように自律自動飛行ドローンが様々な仕事をして、
その全てがインターネット経由で人工知能によってリアルタイム管理されています。
また、ドローンとは、空を飛ぶだけでなく、地上も水上も水中も。もちろん人も乗ります。



ビルの屋上から屋上へ
人乗りドローンタクシー



離島や山岳部へ医薬品もすぐ
運べ空も海も陸もフル活用



24時間の安全も
警察ドローン巡回



農業現場も空から陸から
精密農業

ドローン前提社会で実現する未来のイメージ



部屋の中でも気軽に
頼む、聞ける



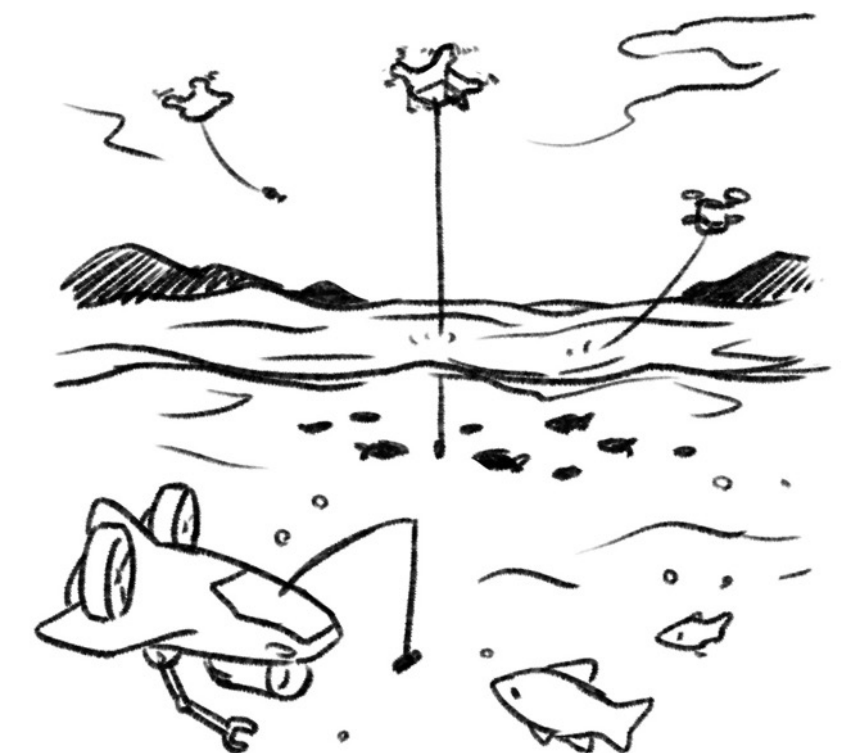
建築現場やインフラ
点検で欠かせない



車に混じって
ホバーバイクで楽々運
転



街のあちこちに
「ドローンの巣」が。



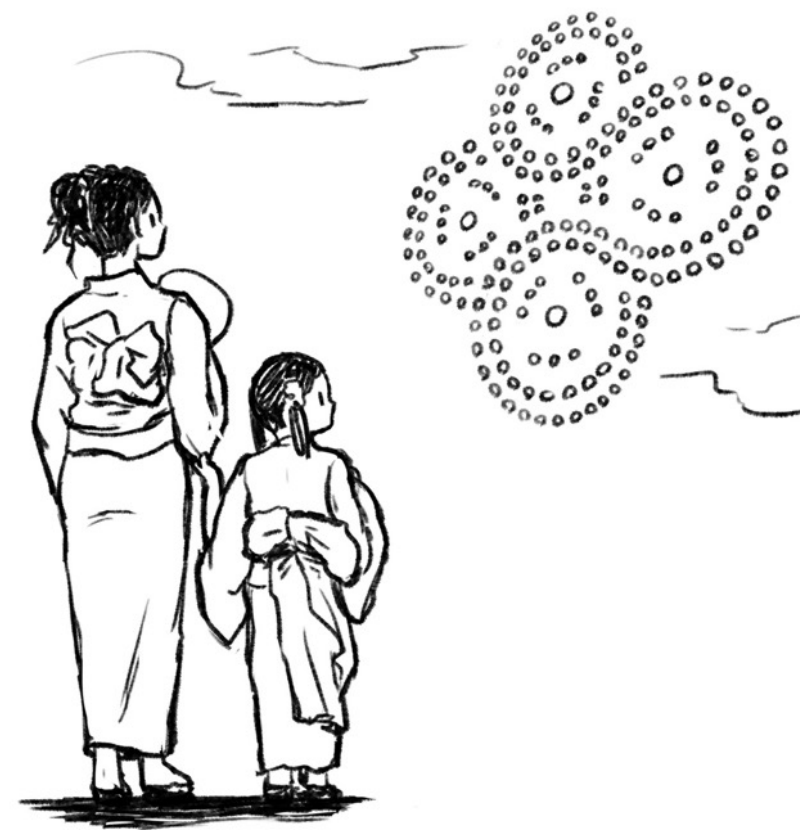
釣りも上空から、
水中から探しちゃう



24時間の安全も
警察ドローン巡回



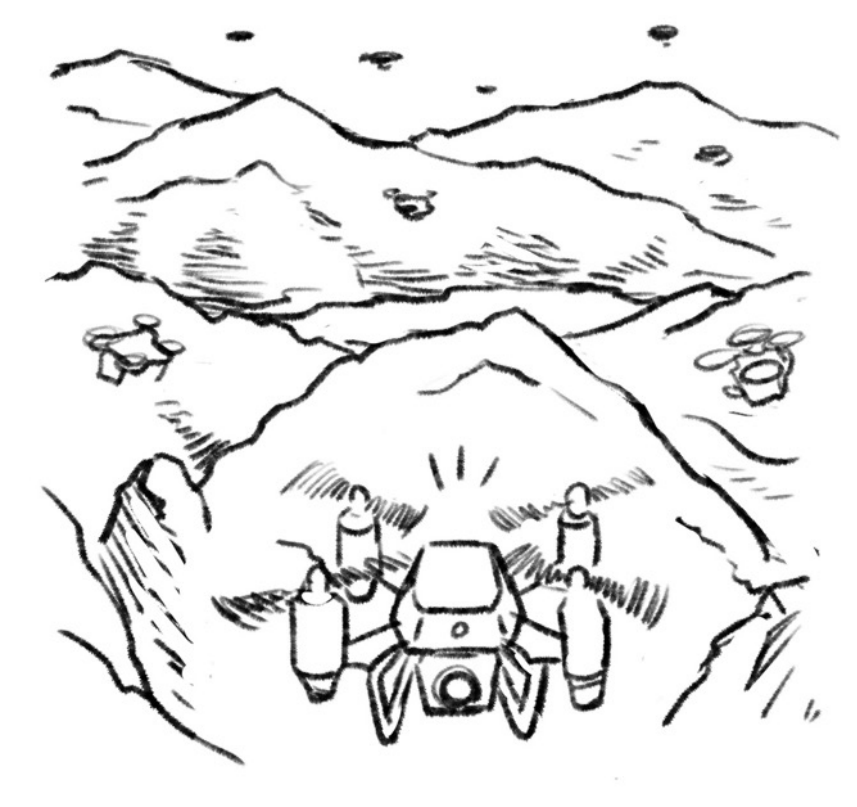
都心上空にももの自動飛行ド
ローンが飛び交います。



花火のかわりに
夜空を彩るドローン



F1レースより熱狂のド
ローンレース



被災地や山岳捜索
現場で活躍

Our Team

運営メンバー

Chief Financial Officer

舟波 大地

Daichi Funanami

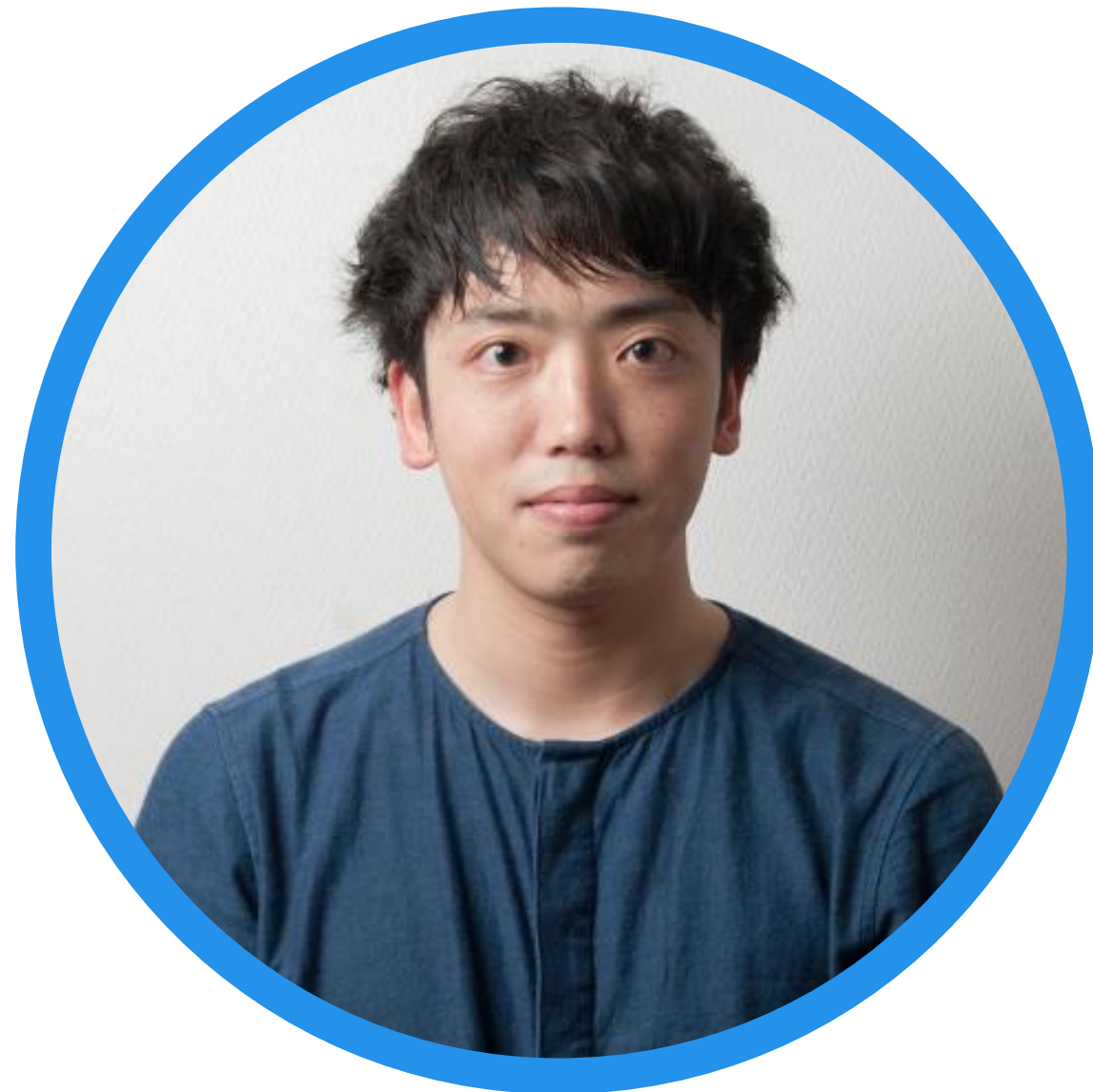
大学在学中に公認会計士試験2次試験に合格。
大学卒業後、監査法人で4年間監査業務に従事したあと、監査法人を退所しスタートアップ支援業務に従事。
2017年3月にDrone Fund構想中の千葉と出会い、Drone Fundの立ち上げ期よりDrone Fundに参画。
2018年1月よりDrone FundのCFOに就任。

Community Manager

近藤 建斗

Kendo Kondo

測量士補。国際航業株式会社より出向。自治体向けの社会インフラ、エネルギー事業等の営業に従事。
Drone Fundには、2018年4月から2019年3月末まで、国際航業の親会社であり、当ファンドのLPである日本アジアグループ株式会社より、出向出資先との連携、測量・インフラ分野のビジネスディベロップメントを担当。



千葉 功太郎 過去のメディア情報①

Drone Fund 発表記者会見

2018年6月29日テレビ朝日 報道ステーション 2017年12月1日テレビ朝日 報道ステーション



2017年11月7日 日経CNBC「ドローンが拓く『空の産業革命』～仕掛け人に聞く～」第1回番組放送出演



投資家・慶応大学上席所員
千葉 功太郎
元コロプラ副社長 日本で有数の個人投資家 ドローンファンド代表

ジャパン・ドローン展 2018登壇



2017年10月29日日本テレビ「SENSORS」にゲスト出演



ForbesJapan5月号

千葉 功太郎 過去のメディア情報②

2018年4月2日日経新聞 「「社長を超えろ」スタートアップ9社が合同入社式」



第7回WIT Japan & Asia 2018 登壇海外経営者向け英語プレゼン



Kotaro Chiba
Founder Drone Fund



Kotaro Chiba is a leading angel investor, having invested to 45 start-ups and 29 venture-funds both domestic and international. He is the founder of Drone Fund which specializes in the investment of Drone Start-ups. He also works as a senior researcher at Keio Research Institute at SFC. He joined Recruit (Recruit Holdings) after graduating from Keio University and moved to Cybird as a tech evangelist. After that, he has held various BOD positions at KLab, COLOPL and The Ryokan Tokyo.

ICCサミット等、IVS系イベント登壇実績多数有



累計調達額438億円のスタートアップが集う、口外無用の起業家コミュニティ「千葉道場」 | TechCrunch Japan

ここに1つの血判状がある。「千葉道場NDA」と呼ばれるこの書面は、これからその会場で話される内容を一切口外しないという誓いを表したものだ(血判状とは言っても...)

JP.TECHCRUNCH.COM

2018年3月28日TechCrunch Japan

日経産業新聞2018年6月26日一面

日経産業新聞2018年3月29日一面



日経新聞2017年10月05日

日経新聞2017年7月31日

